

○原子力の日※(10月26日)を中心とした10月の1ヶ月間を「放射性廃棄物処分 広報強化月間」とし、国、原子力発電環境整備機構(NUMO)等が連携し、国民全般への集中的な広報活動を実施予定。

※原子力の日：我が国が国際原子力機関(IAEA)憲章に調印した日(昭和31年)と、我が国で初めて原子力発電を行った日(昭和38年)にちなみ、昭和39年に設けられた記念日。毎年この日を中心として、様々な理解促進のための事業(ポスターコンクール等)を実施。

1. 国の取組

①10月27日に処分地が決定したスウェーデンの地元要人や実施主体を招聘したシンポジウムの開催。

②経済産業省及び各経済産業局において「^{けんすいまく}懸垂幕」や「電光掲示板」による地層処分の理解を推進するための標語の掲載

③その他

(10月13日、さいたま市でエネキャラバンを開催、10月24、25日、東京工業大学で地層処分模擬展示車を展示)

2. NUMOの取組

①新聞広告／TVCM／ポスターの掲出など

②NUMOホームページ特設サイトの開設

③テレビ番組提供

・10月18日(日)22:00～23:15 フジテレビ系列

・10月25日(日)17:00～17:55 BSフジ

④10月24日、有識者による「電気の廃棄物」問題を考えるシンポジウムの開催



NUMOのHPへの誘導



新聞広告



けんすいまく
「懸垂幕」